

正の数と負の数

例題 1

+, -の符号を使って, 次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より4℃高い温度

(2) 0℃より2.8℃低い温度

ポイント1 ◆ 正の数, 負の数

解く前に確認しよう

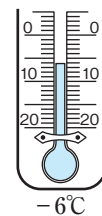
- 0より大きい数を^{せい}正の数といい, + (プラス, 正の符号) を使って表すことがある。例 +3, +4.2
- 0より小さい数を^ひ負の数といい, - (マイナス, 負の符号) を使って表す。例 -5, $-\frac{1}{2}$
- 整数には正の整数, 0, 負の整数があり, 正の整数を^{しぜんすう}自然数ともいう。
- 0は, 正の数でも負の数でもない数である。

整数

……, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, ……

負の整数 正の整数(自然数)

図で確認しよう



考え方と解き方

(1) 0℃より高い温度は+の符号を使って表す。4℃高い温度は+4℃

(2) 0℃より低い温度は-の符号を使って表す。2.8℃低い温度は-2.8℃

答 (1) +4℃

(2) -2.8℃

例題 2

地点Aから東へ3m移動することを+3mと表すことにすれば, Aから西へ2m移動することはどのように表されるか。

ポイント2 ◆ 符号のついた数で表す

解く前に確認しよう

■ 反対の性質をもつことばを確認しよう。

東⇔西 北⇔南 支出⇔収入 増加⇔減少 前⇔後 上⇔下 重い⇔軽い 長い⇔短い

考え方と解き方

地点Aを基準にして, Aから東へ移動することを+で表しているのだから, 東の反対の西へ移動することは-をつけて表すことができる。

東へ3m → +3m 西へ2m → -2m

図で確認しよう



答 -2m

学習の目標

負の数の意味を理解し、正負の符号をつけて数を表します。数直線で数の大小を考えられるようにします。

学習日 月 日

ポイント1 の確認

「正の数、負の数」についてまとめよう。

◆まとめ

- ① 0より大きい数を といい、 の符号を使って表すことがある。
- ② 0より小さい数を といい、 の符号を使って表す。
- ③ 整数には正の整数、0、負の整数があり、正の整数を ともいう。
- ④ は、正の数でも負の数でもない数である。

■ 練習をしよう

問題

+, -の符号を使って、次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より6℃高い温度

(2) 0℃より0.5℃低い温度

(1) 0℃より高い温度は の符号を使って表す。6℃高い温度は ℃

(2) 0℃より低い温度は の符号を使って表す。0.5℃低い温度は ℃

答 (1) ℃ (2) ℃

ポイント2 の確認

「符号のついた数で表す」についてまとめよう。

◆まとめ

反対の意味をもつことは、

東⇔ 北⇔ 支出⇔ 増加⇔

前⇔ 上⇔ 重い⇔ 長い⇔

■ 練習をしよう

問題

地点Aから北へ5m移動することを+5mと表すことにすれば、Aから南へ8m移動することはどのように表されるか。

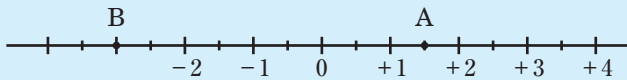
地点Aを基準にして、Aから北へ移動することを で表しているの、北の反対の へ移動することは をつけて表すことができる。

北へ5m → +5m 南へ8m → m

答 m

例題 3

次の数直線で、点A、Bに対応する数を答えなさい。

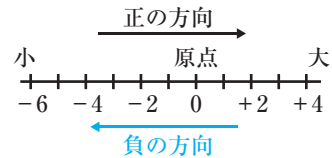


ポイント3 ◆ 数直線

解く前に確認しよう

- ① 数直線上で0を表す点を^{げんてん}原点という。
- ② 数直線の右の方向を**正の方向**、左の方向を**負の方向**という。

図で確認しよう



考え方と解き方

原点(数0)より右側に正の数、左側に負の数に対応している。

点Aは原点より右にあるから正の数で、+1と+2の真ん中だから、 $+1.5\left(+1\frac{1}{2}\right)$

点Bは原点より左にあるから負の数で、-2より1小さい数だから、-3

答 点A… $+1.5\left(+1\frac{1}{2}\right)$ 、点B…-3

例題 4

次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-2, -6$

(2) $-3, +1, 0$

ポイント4 ◆ 絶対値と数の大小

解く前に確認しよう

- ① 数直線上で、原点から、ある数を表す点までの距離を、その数の**絶対値**という。

例 +5の絶対値は5、-2の絶対値は2、0の絶対値は0

- ② 数の大小
 - ・正の数は0より大きく、負の数は0より小さい。
 - ・正の数は、絶対値が大きいほど大きい。
 - ・負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

考え方と解き方

- (1) 負の数は、絶対値が大きいほど小さい。

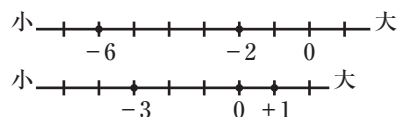
-2の絶対値は2、-6の絶対値は6

$2 < 6$ だから、 $-2 > -6$ となる。

- (2) 負の数は0より小さく、正の数は0より大きい。

したがって、 $-3 < 0$ 、 $+1 > 0$ より、 $-3 < 0 < +1$

図で確認しよう



答 (1) $-2 > -6$

(2) $-3 < 0 < +1$

ポイント3の確認

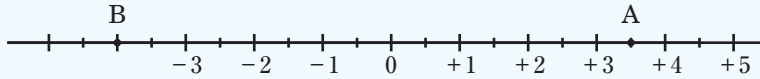
「数直線」についてまとめよう。

◆まとめ

- ① 数直線上で0を表す点を という。
- ② 数直線の右の方向を の方向、左の方向を の方向という。

■練習をしよう

問題 次の数直線で、点A、Bに対応する数を答えなさい。



原点より 側に正の数, 側に負の数に対応している。

点Aは原点より右にあるから の数で, +3と+4の真ん中だから,

点Bは原点より左にあるから の数で, -3より1小さい数だから

答 点A… 点B…

ポイント4の確認

「絶対値と数の大小」についてまとめよう。

◆まとめ

- ① 数直線上で、原点から、ある数を表す点までの距離を、その数の という。
- ② 数の大小
 - ・ は0より大きく, は0より小さい。
 - ・ 正の数は、絶対値が大きいほど 。
 - ・ 負の数は、絶対値が大きいほど 。

■練習をしよう

問題 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

- (1) -1, -5
- (2) -4, +5, 0

(1) 負の数は、絶対値が大きいほど 。

-1の絶対値は , -5の絶対値は 1 5だから, -1 -5

(2) 負の数は0より小さく, 正の数は0より大きい。

したがって, -4 0, +5 0より, -4 0 +5

答 (1) -1 -5 (2) -4 0 +5

ポイント1 の練習

次の問いに答えなさい。

(1) +, -の符号を使って, 次の温度を表しなさい。

* ① 0℃より8℃高い温度

* ② 0℃より7℃低い温度

(2) 次の温度は, 0℃より何℃高いか。または, 何℃低いかな。

* ① +6℃

* ② -10.4℃

ポイント2 の練習

地点Pから東へ5m移動することを+5mと表すとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 次の移動を+, -の符号を使って表しなさい。

* ① 東へ11mの移動

* ② 西へ15mの移動

(2) 次の①, ②はどんな移動を表しているか。

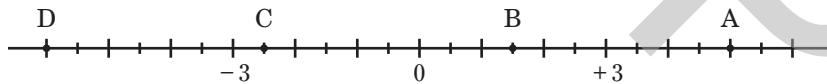
* ① +18m

② -6m

ポイント3 の練習

次の数直線で, 点A, B, C, Dに対応する数を答えなさい。

また, ①~④の数に対応する点をしるしなさい。



* 点A

点B

点C

* 点D

* ① +0.5

② +6

③ -1

* ④ -4.5

ポイント4 の練習

次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

* ① +4

② -4

③ 0

* ④ -12

(2) 次の にあてはまる不等号を答えなさい。

* ① -6 +5

* ② 0 -0.4

チャレンジ問題

次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

(1) +1, + $\frac{4}{5}$

(2) +0.7, -1.7, +2, -3.7

1 次の問いに答えなさい。

(1) +, -の符号を使って, 次の温度を表しなさい。

① 0℃より9℃高い温度

② 0℃より1℃低い温度

(2) +, -の符号を使って, 次の数を表しなさい。

① 0より16大きい数

② 0より20小さい数

2 地点Pから北へ6m移動することを+6mと表すとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 次の移動を+, -の符号を使って表しなさい。

① 北へ39mの移動

② 南へ50mの移動

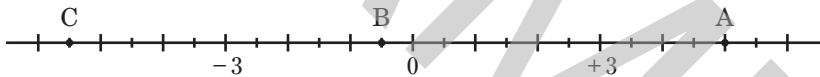
(2) 次の①, ②はどんな移動を表しているか。

① +130m

② -85m

3 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数直線で, 点A, B, Cに対応する数を答えなさい。



点A

点B

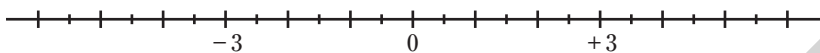
点C

(2) 次の点D, E, Fに対応する点を下の数直線にしるし, 記号も書きなさい。

点D -2.5

点E +4

点F $-\frac{3}{2}$



4 次の問いに答えなさい。

(1) 次の数の絶対値を答えなさい。

① -2

② +1.5

③ -4.7

(2) 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

① -5, +3

② -10, 0, -9

③ +6, -3.8, +2.1, -4

★自分でチェックしてみよう★

項目	1回目(/)	2回目(/)	3回目(/)	NO →ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.4 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.4 ポイント2
ポイント3 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.6 ポイント3
ポイント4 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.6 ポイント4

先生メモ

加法と減法

例題 1

次の計算をなさい。

(1) $(+2) + (+5)$

(2) $(-4) + (-2)$

ポイント 1 ◆ 符号が同じ数の和

- ① たし算のことを^{かほう}加法ともいう。
- ② たし算の答えを和という。

解く前に確認しよう

同符号の数の加法は、絶対値の和に共通の符号をつける。

考え方と解き方

同符号の数の加法は、絶対値の和に共通の符号をつける。

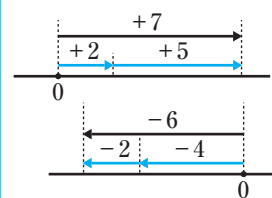
(1) $+2$ の絶対値は2, $+5$ の絶対値は5 絶対値の和は, $2+5=7$

共通の符号は+ したがって, $(+2) + (+5) = + (2+5) = +7$ ……**答**
共通の符号 たす

(2) -4 の絶対値は4, -2 の絶対値は2 絶対値の和は, $4+2=6$

共通の符号は- したがって, $(-4) + (-2) = - (4+2) = -6$ ……**答**
共通の符号 たす

図で確認しよう



例題 2

次の計算をなさい。

(1) $(+2) + (-5)$

(2) $(+6) + (-1)$

ポイント 2 ◆ 符号が異なる数の和

解く前に確認しよう

異符号の数の加法は、絶対値の大きいほうから小さいほうをひき、絶対値の大きいほうの符号をつける。

考え方と解き方

(1) $+2$ の絶対値は2, -5 の絶対値は5 $2 < 5$ だから, 和の符号は-

したがって, $(+2) + (-5) = - (5-2) = -3$ ……**答**
絶対値が大きいほうの符号 ひく

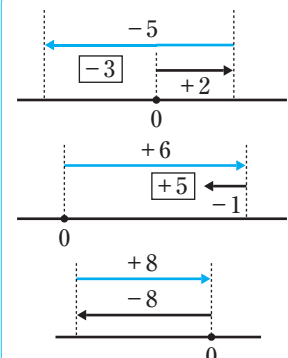
* -5 をたすことは, $+5$ をひくことと同じ。

(2) $+6$ の絶対値は6, -1 の絶対値は1 $6 > 1$ だから, 和の符号は+

したがって, $(+6) + (-1) = + (6-1) = +5$ ……**答**
絶対値が大きいほうの符号 ひく

注 絶対値の等しい異符号の2数の和は0である。 例 $(-8) + (+8) = 0$
 0との加法 例 $(-6) + 0 = -6$, $0 + (-4) = -4$

図で確認しよう



学習の目標

2数の加法で、答えの符号、絶対値の決め方を学習します。3つ以上の数の加法や2数の減法も学習します。

学習日 月 日

ポイント1 の確認

 「符号が同じ数の和」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 同符号の数の加法は、 の和に共通の をつける。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $(+1)+(+6)$

(2) $(-5)+(-3)$

(1) +1の絶対値は , +6の絶対値は だから、絶対値の和は、 $1+6=$

共通の符号は したがって、 $(+1)+(+6)=$ $(1+6)=$ ……**答**

(2) -5の絶対値は , -3の絶対値は だから、絶対値の和は、 $5+3=$

共通の符号は したがって、 $(-5)+(-3)=$ $(5+3)=$ ……**答**

ポイント2 の確認

 「符号が異なる数の和」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 異符号の数の加法は、絶対値の ほうから ほうをひき、絶対値の ほうの符号をつける。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $(+2)+(-6)$

(2) $(-3)+(+9)$

(1) +2の絶対値は , -6の絶対値は 2 6だから、和の符号は

したがって、 $(+2)+(-6)=-$ (-) = ……**答**

(2) -3の絶対値は , +9の絶対値は 3 9だから、和の符号は

したがって、 $(-3)+(+9)=+$ (-) = ……**答**

例題 3

$(-4) + (+8) + (-11) + (+5)$ を計算しなさい。

ポイント3 ◆ 加法の計算法則

解く前に確認しよう

- 3つ以上の数の加法は、加法の交換法則や結合法則を使って、数の順序や組み合わせを変えて計算するとよい。

加法の交換法則 $\square + \circ = \circ + \square$

加法の結合法則 $(\square + \circ) + \triangle = \square + (\circ + \triangle)$

考え方と解き方

負の数どうし、正の数どうしをまとめてから計算する。

$$\begin{aligned}
 (-4) + (+8) + (-11) + (+5) &= (-4) + (-11) + (+8) + (+5) && \leftarrow \text{交換法則} \\
 &= \{(-4) + (-11)\} + \{(+8) + (+5)\} && \leftarrow \text{結合法則} \\
 &= (-15) + (+13) \\
 &= -(15 - 13) \\
 &= -2 \dots\dots\text{答}
 \end{aligned}$$

例題 4

次の計算をしなさい。

(1) $(+1) - (+5)$

(2) $(+2) - (-8)$

ポイント4 ◆ 減法

- ① ひき算のことを^{げんぽう}減法ともいう。
- ② ひき算の答えを差という。

解く前に確認しよう

- 正負の数の減法は、ひく数の符号を変えてたす。

$$\circ - (+\square) = \circ + (-\square) \quad \circ - (-\square) = \circ + (+\square)$$

考え方と解き方

- (1) 正の数をひくことは、負の数をたすことと同じだから、加法になおして計算する。

+5をひくことは、-5をたすことと同じ。

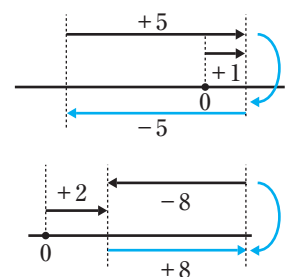
$$\begin{aligned}
 (+1) - (+5) &= (+1) + (-5) \\
 &= -(5 - 1) = -4 \dots\dots\text{答}
 \end{aligned}$$

- (2) 負の数をひくことは、正の数をたすことと同じ。

-8をひくことは、+8をたすことと同じ。

$$\begin{aligned}
 (+2) - (-8) &= (+2) + (+8) \\
 &= +(2 + 8) \\
 &= +10 \dots\dots\text{答}
 \end{aligned}$$

図で確認しよう



ポイント1 の練習

次の計算をなさい。

* $\square\square(1) (+6) + (+1)$

* $\square\square(2) (-3) + (-4)$

$\square\square(3) (-8) + (-7)$

* $\square\square(4) (-14) + (-18)$

* $\square\square(5) (+11) + (+9)$

$\square\square(6) (-15) + (-36)$

ポイント2 の練習

次の計算をなさい。

* $\square\square(1) (+1) + (-4)$

* $\square\square(2) (+8) + (-2)$

* $\square\square(3) (-5) + (+3)$

$\square\square(4) (-9) + (+8)$

* $\square\square(5) (-13) + (+13)$

* $\square\square(6) (-14) + (+20)$

$\square\square(7) (+12) + (-28)$

$\square\square(8) 0 + (-15)$

$\square\square(9) (+8) + 0$

ポイント3 の練習

次の計算をなさい。

* $\square\square(1) (-3) + (+2) + (-5)$

* $\square\square(2) (+7) + (-5) + (-6) + (+4)$

ポイント4 の練習

次の計算をなさい。

* $\square\square(1) (+2) - (+5)$

* $\square\square(2) (-7) - (+1)$

* $\square\square(3) 0 - (+3)$

$\square\square(4) (-19) - (-19)$

$\square\square(5) (+5) - (-2)$

$\square\square(6) (-8) - (-3)$

👑 チャレンジ問題

次の計算をなさい。

$\square\square(1) (-6) + (-15) + (+15) + (-4)$

$\square\square(2) (+32) + (-9) + (+19) + (-32)$

1 次の計算をなさい。

□□□(1) $(-3) + (-3)$

□□□(2) $(+5) + (+4)$

□□□(3) $(-8) + (-6)$

□□□(4) $(+9) + (+17)$

□□□(5) $(-16) + (-18)$

□□□(6) $(-7) + (-24)$

2 次の計算をなさい。

□□□(1) $(-5) + (+2)$

□□□(2) $(+8) + (-6)$

□□□(3) $(-3) + (+9)$

□□□(4) $(+7) + (-7)$

□□□(5) $0 + (-14)$

□□□(6) $(+6) + (-18)$

3 次の計算をなさい。

□□□(1) $(+1) + (-8) + (+5)$

□□□(2) $(-10) + (+3) + (+4)$

□□□(3) $(-2) + (+5) + (-6) + (+1)$

□□□(4) $(+16) + (-8) + 0 + (-5)$

4 次の計算をなさい。

□□□(1) $(-2) - (+1)$

□□□(2) $(+4) - (+5)$

□□□(3) $(-8) - (+7)$

□□□(4) $(+9) - (+3)$

□□□(5) $(-16) - (+6)$

□□□(6) $0 - (+11)$

□□□(7) $(+4) - (-5)$

□□□(8) $(-2) - (-7)$

□□□(9) $(+10) - (-1)$

□□□(10) $(-9) - (-6)$

□□□(11) $(-18) - (-18)$

□□□(12) $(+5) - (-16)$

★自分でチェックしてみよう★

項目	1回目(/)	2回目(/)	3回目(/)	NO →ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.10 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.10 ポイント2
ポイント3 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.12 ポイント3
ポイント4 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.12 ポイント4

先生メモ

加法と減法が混じった式

例題 1

次の計算をなさい。

(1) $(-0.4) - (+1.1)$

(2) $(-\frac{1}{2}) + (+\frac{2}{3})$

ポイント 1 ◆ 小数や分数の加減

解く前に確認しよう

■ 負の小数や分数についても、整数と同じように加法、減法をすることができる。

考え方と解き方

(1) $+1.1$ をひくことは、 -1.1 をたすことと同じ。

$$(-0.4) - (+1.1) = (-0.4) + (-1.1) = -(0.4+1.1) = -1.5 \quad \text{………答}$$

共通の符号 たす

(2) 異符号の加法だから、絶対値の大きいほうから小さいほうをひき、絶対値の大きいほうの符号をつける。

$$\frac{1}{2} = \frac{3}{6}, \quad \frac{2}{3} = \frac{4}{6} \quad \frac{3}{6} < \frac{4}{6} \text{より}, \quad \frac{1}{2} < \frac{2}{3} \text{だから}, \text{和の符号は} +$$

$$(-\frac{1}{2}) + (+\frac{2}{3}) = (-\frac{3}{6}) + (+\frac{4}{6}) = +(\frac{4}{6} - \frac{3}{6}) = +\frac{1}{6} \quad \text{………答}$$

絶対値の大きいほうの符号 ひく

例題 2

$4 + (-5) - (+8) - (-3)$ を計算しなさい。

ポイント 2 ◆ 加法と減法が混じった式

解く前に確認しよう

$$4 + (-5) - (+8) - (-3) = 4 + (-5) + (-8) + (+3) \quad \leftarrow \text{加法だけの式になおす}$$

$$= 4 - 5 - 8 + 3 \quad \leftarrow \text{かっこのない式になおす}$$

上のように、かっこのない式になおして計算する。

加法の記号で結ばれた1つ1つを項という

考え方と解き方

$$4 + (-5) - (+8) - (-3) = 4 + (-5) + (-8) + (+3)$$

$$= 4 - 5 - 8 + 3$$

$$= 4 + 3 - 5 - 8 \quad \leftarrow \text{正の項どうし負の}$$

$$= 7 - 13 \quad \leftarrow \text{項どうしを計算する。}$$

$$= -6 \quad \text{………答}$$

図で確認しよう

かっこのはずし方

$$+(+□) = +□ \quad +(-□) = -□$$

$$- (+□) = -□ \quad -(-□) = +□$$

※今後はかっこのない式になおして計算する方法で説明します。

ポイント1 の確認

「小数や分数の加減」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 負の小数や分数についても、整数と同じように , をすることができる。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $(-0.6) - (+0.9)$

(2) $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{3}{8})$

(1) $+0.9$ をひくことは、 をたすことと同じ。

$$(-0.6) - (+0.9) = (-0.6) + (\text{ }) = -(\text{ } + \text{ }) = \text{ } \dots\dots \text{答}$$

(2) $\frac{1}{2} = \frac{\text{ }}{8}$, $\frac{4}{8} > \frac{3}{8}$ より、 $\frac{1}{2}$ $\frac{3}{8}$ だから、和の符号は

$$(+\frac{1}{2}) + (-\frac{3}{8}) = (+\frac{\text{ }}{8}) + (-\frac{\text{ }}{8})$$

$$= +(\frac{\text{ }}{8} - \frac{\text{ }}{8}) = \text{ } \dots\dots \text{答}$$

ポイント2 の確認

「加法と減法が混じった式」についてまとめよう。

◆まとめ

■ 加法と減法が混じった式は、 のない式になおして計算する。

■ 加法の記号で結ばれた1つ1つを という。

■ 練習をしよう

問題 次の計算をしなさい。

(1) $2 + (-6) - (+9) - (-5)$

(2) $(-2) - (-3) - (-9) + (-8)$

(1) $2 + (-6) - (+9) - (-5)$

$$= 2 - \text{ } - 9 + \text{ }$$

$$= 2 + \text{ } - 6 - \text{ }$$

$$= 7 - \text{ } = \text{ } \dots\dots \text{答}$$

(2) $(-2) - (-3) - (-9) + (-8)$

$$= -2 + \text{ } + \text{ } - 8$$

$$= \text{ } + \text{ } - 2 - 8$$

$$= \text{ } - 10 = \text{ } \dots\dots \text{答}$$

ポイント1 の練習

次の問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

* ① $(+1) + (-0.4)$

* ② $(-0.7) + (-0.9)$

* ③ $(-1.3) + (+2)$

④ $(+0.8) + (-3)$

* ⑤ $(-\frac{3}{8}) + (-\frac{5}{8})$

* ⑥ $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{5}{6})$

(2) 次の計算をしなさい。

* ① $(-2) - (+0.3)$

② $(-4) - (-1.7)$

③ $(+0.4) - (+3.1)$

* ④ $(+\frac{4}{9}) - (+1)$

⑤ $0 - (-\frac{5}{3})$

⑥ $(+\frac{5}{8}) - (-\frac{1}{2})$

ポイント2 の練習

次の計算をしなさい。

* ① $8 + (-4) + 6$

② $5 + (-2) + (-10)$

* ③ $-1 + (-9) - (+4)$

④ $-7 - (-8) + (-5)$

* ⑤ $2 - (-10) + (-1.3) - 4$

* ⑥ $\frac{5}{8} - \frac{3}{2} - (-\frac{1}{4})$

チャレンジ問題

次の計算をしなさい。

① $7.3 - 15 + 0.6$

② $\frac{1}{3} - \frac{3}{2} + (-\frac{1}{6})$

1 次の計算をなさい。

□□(1) $(-0.4) + (-0.6)$

□□(2) $(+1.2) + (-5)$

□□(3) $(-2.7) + (+1.8)$

□□(4) $(+\frac{5}{9}) + (-\frac{11}{9})$

□□(5) $(-\frac{2}{3}) + (+\frac{1}{4})$

□□(6) $(+\frac{1}{20}) + (-\frac{1}{5})$

□□(7) $(-1.6) - (+0.5)$

□□(8) $(+0.4) - (+4)$

□□(9) $(+0.2) - (-0.8)$

□□(10) $(-\frac{1}{3}) - (+\frac{1}{5})$

□□(11) $(+\frac{1}{4}) - (-\frac{3}{8})$

□□(12) $(-\frac{4}{5}) - (-\frac{7}{15})$

2 次の計算をなさい。

□□(1) $4 + (-6) + (-9)$

□□(2) $3 - 7 + (-4)$

□□(3) $-1 + (-5) - (-8)$

□□(4) $-6 + (-5) + 4$

□□(5) $-3 - 2 + (-2) + 4$

□□(6) $8 - (-7) - (+1) - 9$

□□(7) $-2 - (-4) - 9 + (-6)$

□□(8) $5 + (+4) - (-7) - 13$

□□(9) $3.7 - (-1.8) - 5.2 + (-2.6)$

□□(10) $-\frac{5}{6} - \frac{1}{2} - (-\frac{1}{12})$

★自分でチェックしてみよう★

項目	1回目(/)	2回目(/)	3回目(/)	NO → ここに戻る
ポイント1 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.16 ポイント1
ポイント2 はOK?	YES / NO	YES / NO	YES / NO	P.16 ポイント2

先生メモ